



主催	プログラム	留学先		期間	教育研究活動内容及び成果	法政大学における認定単位数	評価方法
キャリアデザイン学部	キャリア体験学習(国際)	台湾	元智大学	10ヶ月	現地での活動に必要な最低限の中国語を学んだ。 研修に必要な知識を身につけ、現地台湾の歴史、政治、社会、文化、今後の課題について理解した。 また、本研修を通じて、現代の台湾(LGBTQ、新型コロナウイルス感染症など)について学び、日本と台湾との繋がりと将来について理解を深めた。	2単位×2=4単位	担当教員が、当該プログラムへの参加姿勢及び春学期に行う事前指導と秋学期に行う事後指導における課題への取組み等を通して、評価をする。
GIS	OAS	アメリカ カナダ	サンホセ州立大学 プリンスエドワードアイランド大学	4ヶ月	本プログラムでは留学開始までに英語で専門科目を受講するためのアカデミック・スキルを十分に身に付けた2年次もしくは3年次の学生が海外の協定校において、前述の多様な分野の科目を受講し、現地の学生とともに4ヶ月から10ヶ月の間、集中的に学ぶことで、論理的・批判的思考能力、知的枠組みと自由な発想、多文化社会への理解、語学運用能力、表現力とコミュニケーション能力などを養い深めた。 派遣前後にTOEFL-ITPを実施し、英語力の向上を測定している。	最大20単位(1セメスター) 各学生の学生の履修状況による。	現地機関より成績証明書が発行された。
経済学部	SA	アメリカ カナダ	カリフォルニア大学デイヴィス校 ブロック大学	4ヶ月	3プログラム共に、現地機関オリジナルの語学授業と、本学部と現地校のカスタマイズによる経済・ビジネス系科目の授業の二本立てで構成されている。通常の語学授業については、現地校にてプレシメントテストを実施の上、レベルに応じたクラスに参加した。 一般の座学授業だけでなく、自らテーマを決めてプレゼンテーションを行う授業や、フィールドトリップなどのアクティビティも用意され、その他ボランティア活動も授業に組み込まれており、現地の文化に触れながら活きた英語を学ぶ機会を得た。 加えて、出発前4ヶ月間に渡り実施される「留学準備講座」(事前指導)、現地で毎月作成する中間報告レポート(中間指導)、帰国後に行われる帰国後レポートや帰国報告会(事後指導)により、留学による16単位に加え、合計2単位が認定された。 出発5～6ヶ月前にあたる10月にTOEIC IP試験を受検し、帰国後に再度TOEIC IP試験を受検する	最大16単位+2単位	現地機関より成績証明書が発行された。 また、1学期かけて行う事前指導、留学中の中間指導、留学終了後の事後指導を通じて評価する。
社会学部	SA	アメリカ	ボストン大学 カリフォルニア大学サンディエゴ校	2か月～3か月	(ボストン大学) 前半・後半で2つのプログラム構成となり、本学向けのオリジナルプログラムである前半のPre Courseでは、アメリカ文化・社会に関する授業の受講や洋書原文の精読、フィールドトリップ、ボランティア活動等を行った。後半は外国人留学向けに特別に編成されたプログラムを受講し、語学力を向上させることができた。加えて、出発前5日間に渡り「語学研修」(事前指導)、現地で毎月作成する月別報告(中間指導)、帰国後に行われる帰国後課題や帰国報告会(事後指導)により、留学による16単位の認定がされた。出発8～10ヶ月前にあたる1月にTOEIC IP試験を受検し、帰国後に再度TOEIC IP試験を受検する。 (カリフォルニア大学サンディエゴ校) 会話力向上を目指すコースと、大学での授業履修を見越したアカデミックなコースが用意され、学生は、各自の語学習得目的に合わせて、履修することができた。アメリカ文化・社会に関する授業の受講や洋書原文の精読、フィールドトリップ、ボランティア活動等を行った他、語学力を向上させることができた。加えて、出発前5日間に渡り「語学研修」(事前指導)、現地で毎月作成する月別報告(中間指導)、帰国後に行われる帰国後課題や帰国報告会(事後指導)により、留学による16単位の認定がされた。出発8～10ヶ月前にあたる1月にTOEIC IP試験を受検し、帰国後に再度TOEIC IP試験を受検する。	16単位	現地機関より成績証明書が発行された。 また、事前指導、留学中の中間指導、留学終了後の事後指導を通じて評価する。
情報科学部	SA	マレーシア	ブトラマレーシア大学	4週間	本プログラムは、3週間の現地語学学校での語学研修と、提携大学での1週間の講義・演習・実習の2本立てとなっている。 語学研修は、プレシメントテストを実施し、他国から来ている留学生もいるクラスで、レベルに応じた英語研修を行った。事後に行った学生のアンケートによると、マレーシアでの語学学校としては数年にわたり最高の賞を受けている語学プログラムで、他国の学生と混じって行った英語研修はとても有意義なものであったようである。事後に行ったTOEICの点数をみても、100点以上上がった学生も多く、語学研修としては成功していると言える。 提携大学での講義・演習・実習も、先方が学生の興味を持ちやすそうなプログラムを組んで下さり、マレーシアに置けるAI研究や、画像処理などの講義をうけ、最先端の研究に触れることができた。学生のアンケートにおいても、日本で学習している内容が、世界でも同じように使われていることに感動した、世界における最先端の研究を知ることができて刺激になったなどの感想があり、参加学生の今後の研究の刺激になったと言える。	2単位	担当教員が事前ガイダンスの取組姿勢と留学先における学習状況、帰国後に実施する報告発表会の内容をもとに評価する。

※本学では、1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。